

COFFEE BREAK

ヨーロッパ界面の旅

馬場 宣良

東京都立大学工学部工業化学科
〒158 世田谷区深沢 2-1-1

(1986年10月13日受理)

Travel in Europe, Specially along the Border

Nobuyoshi BABA

Faculty of Technology, Tokyo Metropolitan
University
Fukasawa 2-1-1, Setagaya-ku 158

(Received October 13, 1986)

この度6月1日から8月31日までドイツ学術文化交流会の招へいで西ドイツ原子力研究所(ユーリッヒ)において3ヶ月間の滞在研究する機会を得た。研究の内容は表面科学とは殆ど無縁の放射性元素テクネチウムの錯体合成であったのでここでは仕事以外の話をしたい。

さて、滞在期間の大部分は独りでであったので金曜の夕方から土曜、日曜日の2日間にかけてかなり自由気ままに旅をすることができた。私はこれまでに2回ヨーロッパに長期滞在の経験があったので、今回はパリのような大都市などは一切訪問せず、あまり一般の観光客に知られていないところばかりを選び、国境周辺を主に旅してきた。日本には幸か不幸か陸続きの国境というものがない。そのため一般には国境という概念が具体的にはわからず、せいぜい昔のイメージでのサハリン(樺太)とか中国北西部(満州)の厳しい、暗いイメージしかないように思われる。しかし一度ヨーロッパに足をふみいれ、汽車や自動車の旅をしてみると、そこにはすべてが陸続きのあまり広くないところに、大小二十数ヶ国が国境を隔てて厳然と、しかも均衡を保って存在しているのである。比較的大きな国もあれば東京都よりも小さい国もある。この様子はあたかも金属の組織を顕微鏡で見ているようで、その一つ一つの単結晶の中では夫々に独自の秩序があってホモジニアスであり、他の結晶との間には明瞭な粒界をもって区別されている。これらヨーロッパの各国は夫々が独自の憲法(政治)、通貨(経済)とそして言語(コミュニケーション)を持っているのである。この事は例えば東京都と神奈川県と位の地域の違いで国が異なっているので法律が全く違っていたり、物価が違っているとか、言語が違ってお互いに会話ができないことに相当すると思えばよいだろう。

これらの違いのなかで特に言語に関してはもっと複雑な事情が存在する。単一国家であってもスイスとかベルギーという国は一つの国の中に幾つかの異なる言葉が使われている地域に分かれており、それらの何れもが公用語として正式に認められているのである。言葉の異なる地域の間でのお互いのコミュニケーションは一般的には不可能で、これは同国人でありながら外国人と話すのと同じ状態なのである。これを金属の結晶に例えれば、一つの結晶の内部に更にある種の界面が存在することになる。これは単結晶内部に双晶面があることに例えることができるだろう。

一方、国は異なっても、言葉は同じという国もある。ドイツとオーストリー、スイスの一部とか、フランスとスイス、ベルギーの一部といったぐあいである。これは結晶に例えれば大きい単結晶の表面に別の物質がエピタキシーに成長しているものを思わせる。(歴史的には夫々深い理由があるはずであるが、それについては触れないこととする)

さて、こんなことを考えながらドイツを中心としたヨーロッパを列車あるいは車で走った時の経験談を思いつくままにいくつか述べてみたいと思う。

その1: [ことばが同じ国の間の国境]

南ドイツとオーストリーとの国境付近には Allgäu 地方、Oberbayern 地方、Tirol 地方といった 3000m 級のアルプスの山々がそびえている 風光明媚な地方がある。これからの話はその国境に沿って走る ローカル線に乗った時のことである。この線の始点は南ドイツ Allgäu 地方の都市 Kempten という小さい分岐駅である。因みにドイツをはじめヨーロッパの鉄道には東海道本線とか東北本線といった線の固有の名称はない。列車はこの駅を出ると間もなくオーストリーに入り、アルプスの山間を縫って走る。しばらく走ってドイツ最高峰の Zugspitze の近くで再びドイツ領に戻る。Garmisch Partenkirchen を過ぎるとまたオーストリーに入り、1964年の東京オリンピックの時の冬期オリンピック会場となった Seefeld を通ってチロル地方の中心の Innsbruck が終点であった。列車の車輛自体はオーストリー所属のものであったが運転手や車掌は国境で交代する。そのため国境での停車時間は長く 20分位は止まっていた。

さて、国境近くになるとドイツとオーストリーの両国から一人ずつの警察官が一組になって乗り込んできてパスポートの検査をした。一車輛に乗っているお客さんの数はせいぜい10人くらいだったので検査はすぐに終わってしまった。ひまになった警察官は近くの空いた席に座って次の駅に到着するまで雑談を始めた。さきに述べ

たようにドイツとオーストリーとは言語が同じなので、警察官同志何不自由なく話をする事ができる。そこで話していることが何となく聞こえてきたので耳を傾けていたところ、その内容は各自の国における給料、有給休暇などの待遇のことや街の物価のことが話題になっているらしい。同じところで同じ仕事をしている警察官でありながら国が違うというだけのことで格差があることをなげいているらしかった。例えば、春に卒業した同窓生のA社の社員とB社の社員とが初任給などの比較の話をしているのと良く似ていると思い、どこの世界でも同じだなあという感じがした。

その2：(東西ドイツの厚い壁)

しかしこんなんびりしてなごやかな国境ばかりではない。西ドイツと東ドイツの間では言葉は同じでも国境におけるチェックは極めて厳しいものであった。ニュールンベルグからベルリンへ向かう夜行列車に乗った時のことである。この時のお客には遊びや観光というはなやいだイメージは全く感じられなかった。東ドイツと西ドイツとの間の国境警備警察官は人と物資の自由な流れを阻止し、文化の交流をも断絶している。この国境にはあたかも半導体における p-n junction のような空乏層があってお互いの流通は極めて困難にされているようにみえた。一般に西側ヨーロッパから東側ヨーロッパ諸国へ向かう列車は何となく暗い感じがして、乗っている人々は大きい荷物を抱えての里帰りといった様子であった。

その3：(国境があってなきが如しの Benelux* 三国)

ドイツとオランダ、ベルギーとの国境はおおらかであった。ここは私が滞在していたところから 30 km 位の近くであったので主に車で通行した。都立大出身の矢部さんという理論物理専門の方が同じ研究所にきていたので、その人と2人車でよく出掛けた。ドイツから Aachen を通ってベルギーに入ると道路標識がドイツ語からフランス語へと変わる。ドイツ人は几帳面な人が多いので高速道路での運転のルールを良く守るが、ベルギー人はそうでない人も多らしく運転のマナーがやや悪い。

国境におけるパスポートの検査は簡単に運転者が日本人とわかるとパスポートも見ないで“行け”の合図をしてくれることが多かった。ドイツとオランダとの国境も同じようであった。

* Benelux 三国：ベルギー、オランダ、ルクセンブルグのこと。

更にベルギーとオランダとの国境に至っては検問所に警察官がおらず、全くフリーバスの状態であった。この辺りベルギー、オランダでは一つに融合しており、物質に例えればアモルファス化しているのではないかと思った。しかし道路標識に書かれている文字、あるいは道路上のセンターラインの色などにわずかな違いがみられ、これで初めて国境を通過したんだなということがわかった。

この辺りの人々は時々車で物価の安い国へと買い出しにいっているそうである。通貨もオランダ、ベルギー、ドイツの何れもが使用可であった。そして言葉も2ヶ国語喋れる人が多い。

ベルギーは変わった国である。前にも述べたように同じ国でありながらフランス語地区とオランダ語系の地区とに分かれており、道路標識や地名のスペリングまで違う。同一地名をフランス語地区では Liège と綴り、オランダ語地区では Luik と書いてあって、初心者にとっては分かりにくい。一瞬のうちに判断を要求される高速道路の運転者にとってはこの道路標識は大変分かりにくかった。無機材研の大島さんが行かれていた Namur に行こうとした時もオランダ語地区にいる時には道路標識に Namur という地名はどこにも見当たらず、Namen というのが Namur のことであるのに気がついたのは、だいぶ慣れてからのことであった。

こんなことで車を使つてのヨーロッパ諸国を走る時には国によって地名のスペリングが異なるだけではなく、地域によっても地名のスペリングが違うことがあるということをお頭に置かなければいけないことが分かった。

しかしそれ以外の点ではヨーロッパの道路の標識は解り易く、目的地の地名と道路番号がわかれば地図がなくても主要都市へたどりつけた。それに何といても道が空いていることと、車の運転マナーがよいことであると思う。高速道路の殆どが無料であることも有り難かった。

最後に国境付近を旅して感じたことは、2つ以上の国からの影響をまともに受けている国境付近の住民の文化は一般に代表されているそれらの国の内部(バルク)の文化とは異なっているということであった。これこそ界面独特の文化であり、その真の姿を日本にもっと紹介されてもよいのではないだろうかと考えながら、さてこれは日本表面科学会の学問領域の範囲に入るのだろうかどうなのかなと思った。